

昭和俳句作品年表(戦前・戦中篇)

【目次】

【編集委員】

宇多喜代子

寺井谷子

安西篤

川名大

江中真弓

大畑等

〔昭和元年〜昭和六年〕ホトトギス俳句の隆昌

昭和元年

相島 虚吼	飯田 蛇笏	小沢 武二	栗生 純夫	高野 素十	橋本 夢道	山口 哲子
芥川龍之介	白田 亞浪	梶井基次郎	栗林一石路	高浜 虚子	星野 立子	山口 吉邨
飛鳥田麿無公	萩原井泉水	久保より江	佐野 良太	種田山頭火	松本たかし	
阿波野青畝	尾崎 放哉	久保田万太郎	芝 不器男	西島 麦南	水原秋桜子	

昭和二年

朝木 奏鳳	白田 亞浪	栗林一石路	芝 不器男	高野 素十	永田 耕衣	長谷川かな女	山口 哲子
阿波野青畝	大橋 裸木	河野 静雲	下村 槐太	高橋淡路女	中村草田男	原 石蘭	吉武月 郎
飯田 蛇笏	岡田 耿陽	後藤 夜半	杉田 久女	高浜 虚子	西山 泊雲	日野 草城	渡辺 水巴
池内友次郎	萩原井泉水	佐藤 念腹	鈴木 花蓑	富安 風生	野村 泊月	松野加寿女	
岩木 躑躅	小沢 武二	篠田 春蟬	高田 蝶衣	永井 荷風	橋本多佳子	水原秋桜子	

昭和三年

朝木 奏鳳	井出 台水	久保より江	佐藤 念腹	竹久 夢二	富田うしほ	長谷川かな女	水原秋桜子	横山 白虹
阿波野青畝	白田 亞浪	久保田万太郎	篠田 春蟬	田中 王城	富安 風生	原田 浜人	皆吉 爽雨	渡辺 桂子
飯田 蛇笏	小沢 武二	栗林一石路	芝 不器男	種田山頭火	難波 綾彦	星野 立子	山口 誓子	
池内たけし	神代 藤平	後藤 夜半	高野 素十	田端三千女	西山 泊雲	前田 普羅	山口 青邨	
石井 露月	川端 龍子	小林 空車	高浜 虚子	田村 木国	橋本 夢道	松本たかし	山本 梅史	

昭和四年

秋山秋紅蓼	石城 暮石	栗林一石路	須藤 諾人	竹久 夢二	野村 泊月	本田あふひ	山口 青邨
新井 夜雨	大谷 句仏	河野 静雲	高野 素十	田端三千女	橋本 夢道	前田 普羅	山本 梅史
阿波野青畝	小沢 武二	後藤 夜半	高橋淡路女	富田 潮児	浜口弥十郎	松本たかし	百合山羽公
飯田 蛇笏	軽部烏頭子	篠田 春蟬	高浜 虚子	富安 風生	原 石鼎	水原秋桜子	吉岡禪寺洞
池内たけし	川端 茅舎	芝 不器男	高室 呉龍	中村草田男	原田 浜人	村上 鬼城	渡辺 水巴
石川 予風	清原 枏童	嶋田 青峰	嶽 墨石	浪本 蕉一	星野 立子	山口 誓子	渡辺 白泉

昭和五年

赤星水竹居	今井つる女	川端 茅舎	芝 不器男	竹下しづの女	中村草田男	藤本 杜子	松本たかし	横山 白虹
阿波野青畝	白田 亞浪	久保田万太郎	嶋田 的浦	種田山頭火	新田 時子	星野 立子	水原秋桜子	吉武月二 郎
飯田 蛇笏	逢坂 鮎	栗林一石路	杉田 久女	千原 味旦	野口 耕平	細見 綾子	森川 暁水	
五十崎吉郷	大橋 裸木	坂本 三鐸	鈴木 花蓑	藤後 左右	野村 泊月	本田 あふひ	山家 和香女	
五十嵐播水	岡田 耿陽	佐々木右風	高野 富士子	富安 風生	東 鷹女	本田 一杉	山口 誓子	
池内友次郎	軽部烏頭子	篠田 春蟬	高浜 虚子	永井 荷風	日野 草城	前原 東作	山口 青邨	



【昭和十二年（昭和十五年）無季新興俳句の成熟

昭和十二年

上野 章子	石城 暮石	白田 亞浪	江口 渙	塩谷 鶴平	及川 貞	太田 鴻村	大谷碧雲居	伊東 月草	井上草加江	岩崎 柵亭
岡本差知子	長田喜代治	片山 桃史	加藤 楸郎	金子伊昔紅	神生 彩史	川端 茅舎	上林 曉	京極 紀陽	栗林 石路	
黒田桜の園	高 篤三	小柳 昌	西東 三鬼	坂本 三鐸	篠々木有風	佐藤 念腹	嶋田 青峰	嶋田 的浦	下田 実花	
杉田 久女	杉原 竹女	杉山 岳陽	妹尾 美雄	相馬 暎子	高野 素十	高濱 虚子	高濱 年尾	高柳 重信		
竹下しづの女	多胡比左志	種田山頭火	塚原 夜潮	徳永夏川女	富沢赤黄男	永田 耕衣	中村 若沙	中村 若沙		
中村草田男	中村 汀女	仁智 栄功	萩原 太郎	橋本多佳子	富沢赤黄男	東 鷹女	比良 碧雪	比良 碧雪		
藤田 初巳	松原 蔵尊	松本 左千	水原 快桜子	宮本 十郎	武等 人魚	本原 扶松子	橋 敏雄	橋 敏雄		
横光 利	吉田 冬草	吉田 冬草	吉田 冬草	吉田 冬草	吉田 冬草	横山 房	横山 房	横山 房		

昭和十二年

阿波野青畝	飯田 蛇笏	五十崎 古郷	石田 波郷	石原 八束	伊藤 柏翠	井上白文地	指宿 沙丘	岩木 躑躅	上田 暮史	石城 暮石	及川 貞
太田 鴻村	大谷 句仏	大野 林火	大橋 椋子	岡本 圭岳	小沢 青柳子	小田 武雄	小野 燕子	片山 桃史	桂 樟蹊	加藤 楸郎	金尾梅の門
神生 彩史	川端 茅舎	京極 紀陽	清田 朗雨	久保田 万太郎	高 篤三	小西 兼尾	小林 勇一	西東 三鬼	佐々木 巽	佐々木 巽	貞永 勝
佐藤 鬼房	佐藤 念腹	佐野 青陽人	篠原 句瑠璃	篠原 梵	芝 昌三郎	芝 昌三郎	嶋田 青峰	嶋田 実花	杉田 久女	高野 素十	
高濱 虚子	高屋 年尾	高屋 年尾	高屋 年尾	高屋 年尾	高屋 年尾	高屋 年尾	高屋 年尾	高屋 年尾	高屋 年尾	高屋 年尾	
永田 耕衣	中村 草田男	中村 若沙	中村 若沙	中村 若沙	中村 若沙	中村 若沙	中村 若沙	中村 若沙	中村 若沙	中村 若沙	
東 鷹女	日野 草城	比良 碧雪	比良 碧雪	比良 碧雪	比良 碧雪	比良 碧雪	比良 碧雪	比良 碧雪	比良 碧雪	比良 碧雪	
本原 扶松子	橋 敏雄	橋 敏雄	橋 敏雄	橋 敏雄	橋 敏雄	橋 敏雄	橋 敏雄	橋 敏雄	橋 敏雄	橋 敏雄	
横山 房	横山 房	横山 房	横山 房	横山 房	横山 房	横山 房					

昭和十三年

相生垣瓜人	岩谷山 樞子	大野 林火	岡本 圭岳	飯田 蛇笏	石田 波郷	石橋 辰之助	石橋 秀野	伊丹 三樹彦	井上草加江
井上白文地	岩谷山 樞子	大野 林火	岡本 圭岳	飯田 蛇笏	石田 波郷	石橋 辰之助	石橋 秀野	伊丹 三樹彦	井上草加江
桂 信子	加藤 けい	神生 彩史	川端 茅舎	清田 朗雨	高 篤三	後藤 夜半	小西 兼尾	近藤 白亭	斎藤 玄
西東 三鬼	坂井 道子	篠原 梵	柴田 白葉女	下田 実花	上甲 平谷	杉村 聖林子	鈴木 六林男	すゞのみぐさ	相馬 暎子
高野 素十	高屋 虚子	高屋 虚子	高屋 虚子	高屋 虚子	高屋 虚子	高屋 虚子	高屋 虚子	高屋 虚子	高屋 虚子
富沢 赤黄男	永井 東門居	中村 草田男							
長谷川 かな女	長谷川 素逝	石 鼎	東 京三						
本田 一杉	松尾 あつゆき	松本 たかし	水谷 碎壺	水原 秋桜子	三谷 昭				
森川 暁水	山口 青柳	湯室 月村	横山 白虹	吉川 春藻	吉田 冬草				

昭和十四年

安住 敦	阿部 箚人	阿波野 青畝	飯田 蛇笏	五十嵐 播水	石川 桂郎	石田 海市	石田 友二	石塚 舟月
石原 八束	磯辺 幹介	伊丹 三樹彦	井上白文地	指宿 沙丘	上野 章子	宇佐美 不喚洞	塩谷 鶴平	太田 鴻村
小川 素光	小沢 青柳子	小野 燕子	笠原 静堂	柏原 鷹一郎	片山 桃史	桂 信子	加藤 楸郎	上川 井架葉
京極 紀陽	清原 桐童	栗生 純夫	小杉 夜半	後藤 夜半	小西 兼尾	斎藤 明	西東 三鬼	坂本 三鐸
皿井 旭川	篠田 澄之典	菅 裸馬	杉村 聖林子	鈴木 六林男	高崎 草郎	高橋 淡路女	高濱 虚子	高濱 年尾
塚原 夜潮	富沢 赤黄男	富田 潮児	永井 東門居	中田 青馬	永田 耕衣	中塚 一碧楼	中村 草田男	中村 草田男
長谷川 かな女	長谷川 素逝	林 春美	原田 浜人	東 京三	東 京三	東 京三	東 京三	東 京三
松村 蒼石	水原 秋桜子	三橋 敏雄	皆吉 爽雨	武藤 草浪	棟上 碧想子	初山 梓月	八木 絵馬	山口 誓子
横山 白虹	吉田 冬草	吉田 冬草	吉田 冬草					

昭和十五年

安住 敦 石橋辰之助 萩原井泉水 神生 彩史 篠原 梵 田川飛旅子 富安 風生 東 鷹女 室生 犀星 阿部 簪人 磯辺 幹介 小沢 碧童 怪部鳥頭子 下村ひろし 中島 斌雄 藤本 清子 森 雨城 荒川 曉浪 市瀬 元吉 片山 桃史 川端 茅舎 杉村聖林子 種田山頭火 種田 耕衣 星野 立子 岩崎健二郎 桂 樟蹊子 久保 白鬼 鈴木貞砂女 鈴木六林男 田村 木国 中村 汀女 細谷 源二 飯田 蛇笏 及川 貞 桂 信子 西東 三鬼 鈴木六林男 鈴木洋々子 塚原 夜潮 橋本 夢道 前田 普羅 山口 誓子 飯田 桂郎 大野 林火 加藤 楸郎 阪口 涯子 佐藤 鬼房 田中 井夢 橋本多佳子 中村 汀女 夢道 松野 加寿女 山口 草堂 石田 波郷 岡橋 宣介 金子 伊昔紅 篠田 第二郎 高屋 窓秋 富沢 赤黄男 手代木啞々子 富沢 赤黄男 原 石船 橋本 敏雄 石塚 友二 岡本差知子 金子 兜太 篠田 第二郎 高屋 窓秋 富沢 赤黄男 文 扶夫 佐忠 水原 秋桜子 百谷 山羽公

昭和十六年、昭和二十年、太平洋戦争下の俳句

昭和十六年

赤城さかえ 及川 貞 川端 茅舎 鈴木真砂女 富安 風生 波多野爽波 古沢 太徳 ミユラー初子 渡辺 白泉 阿部 青鞋 大野 林火 小島 昌勝 鈴木六林男 永田 耕衣 原 コウ子 前田 普羅 茂木 楚秋 阿波野青畝 長田喜代治 小西 甚一 高浜 虚子 中村草田男 原 石船 松尾 静子 森 澄秋 安東 次男 柏原鷹一郎 斎藤 玄 田川飛旅子 中村 若沙 中村 汀女 原 公平 松沢 鎌江 八木 絵馬 飯田 蛇笏 桂 信子 佐藤 鬼房 田中 井夢 橋本多佳子 中村 汀女 夢道 松本 大立 山口 誓子 飯田 龍太 加藤 楸郎 沢木 欣一 富沢 赤黄男 橋本 夢道 文 扶夫 佐忠 水原 秋桜子 百谷 山羽公 石橋 秀野 金子 兜太 下村 槐太 富沢 赤黄男 橋本 夢道 文 扶夫 佐忠 水原 秋桜子 百谷 山羽公

204

昭和十七年

青池 秀二 石橋 秀野 加藤知世子 篠原 梵 高柳 重信 富安 風生 中村 汀女 赤城さかえ 石原 舟月 金子 兜太 柴田白葉女 瀧 春一 永井東門居 橋本 夢道 阿波野青畝 泉 鏡花 草間 時光 鈴木六林男 滝井 折柴 中川 宋淵 原 公平 水原秋桜子 飯田 蛇笏 稲葉 直 香西 照雄 相馬 黄枝 田中 次郎 中川 耕衣 原 公平 三橋 敏雄 石川 桂郎 大野 林火 阪口 涯子 高浜 虚子 殿村菟絲子 富沢 赤黄男 中村 若沙 牧 ひでを 森 澄雄 石田 波郷 加藤 楸郎 沢木 欣一 高屋 窓秋 富沢 赤黄男 中村 若沙

213

昭和十八年

石田 波郷 長田喜代治 久保田万太郎 清水 基吉 高柳 重信 出沢珊太郎 水原秋桜子 石塚 友二 加藤 楸郎 斎藤 玄 下村 槐太 折柴 田川 信子 富沢 赤黄男 皆川 弓彦 阿波野青畝 石橋 秀野 加藤知世子 阪口 涯子 座光寺亭人 鹿島 涯子 鈴木六林男 竹下 竹人 中村草田男 茂木 楚秋 安東 次男 板垣鏡太郎 金子 兜太 佐野まもる 相馬 遷子 田中 次郎 田村 木国 古沢 太徳 安井さつき 百谷山羽公 池上浩山人 植山 露子 岸田 稚魚 清水 清山 高野 虚子 近木圭之介 田村 木国 古沢 太徳 渡辺 水巴 石川 桂郎 榎島 沙丘 清崎 敏郎 高野 虚子 永田 耕衣 中村 若沙 星野 立子

220

昭和十九年

石田 波郷 加藤知世子 清水 基吉 殿村菟絲子 中塚一碧楼 原 公平 水原秋桜子 阿部 青鞋 太田 鴻村 金子 兜太 高野 素十 富安 風生 中村草田男 中野 弘一 日夏耿之介 山口 誓子 飯田 蛇笏 加藤 楸郎 清崎 敏郎 高野 虚子 永田 耕衣 中村 若沙 星野 立子

227

昭和二十年

伊丹三樹彦 加藤知世子 下村 槐太 田畑 耕作 橋本 鶏二 古沢 太徳 三橋 敏雄 赤城さかえ 太田 鴻村 楠木 憲吉 久保田万太郎 相馬 遷子 高野 素十 松原地蔵尊 森田 愛子 渡辺 白泉 秋山 牧車 大野 林火 栗林一石路 後藤 紀一 高柳 重信 野見山朱鳥 平畑 静塔 山口 誓子 吉岡禪寺洞 阿部 簪人 萩原井泉水 桂 信子 西東 三鬼 高柳 重信 中村 汀女 日野 草城 三橋 鷹女 阿部みどり女 加藤 楸郎 西東 三鬼 高柳 重信 野見山朱鳥 平畑 静塔 山口 誓子 吉岡禪寺洞

233

おわりに 宇多喜代子

291

作者名索引(巻末)

【昭和元年～昭和六年】 ホトトギス俳句の隆昌

【昭和元年】

雛の座にカチ／＼山の屏風びやうぶかな

相島 虚吼

薄曇る水動かずよ芹の中

芥川龍之介

兎も片耳垂るる大暑かな

蝶の舌ゼンマイに似る暑さかな

たんたんの咳を出したる夜寒かな

水洩や鼻の先だけ暮れのこる

飛鳥田麗無公

炎天や人がちいさくなつてゆく

阿波野青畝

なつかしの濁世の雨や涅槃像

道作りみなひだるしやみちをしへ

案山子翁あち見こち見や芋嵐

狐火やまこと顔にも一とくさり

極寒のちりもとどめず巖ぶすま

飯田 蛇笏

死ぬものは死にゆく躑躅燃えてをり

白田 亞浪

朝月の岡刈りのぼる青嵐

ふるさとは山路がかりに秋の暮

わらやふるゆきつもる

萩原井泉水

春の山のうしろから煙が出だした

尾崎 放哉

咳をしても一人

入れものが無い両手で受ける

墓のうらに廻る

レール闇から出て曲つてゐる

小沢 武二

凧のいづこガラスの割るゝ音

梶井基次郎

ねこに来る賀状や猫のくすしより

久保より江

昭和元年（一九二六）

【雑誌】

〈1月〉

「寒菊」（岡本松浜）。

「黄橙」（勝峯晋風）。

「三味」（河東碧梧桐個人誌となる）。

〈4月〉

「俳諧雑誌」（第二期・大場白水郎）。

〈9月〉

「土上」（嶋田青峰主宰となる）。

〈10月〉

「俳星」（復刊・石井露月）。

「にひはり」（復刊・伊藤松宇）。

【出版】

〈1月〉

伊藤松宇『松宇家集』。

〈3月〉

春秋社『日本俳書大系』全十七巻刊行開始。

〈6月〉

尾崎放哉『大空』。

松浦為王編『鳴雪俳句集』。

〈7月〉

鈴鹿野風呂『野風呂句集』。

〈12月〉

水原秋桜子『南風』。

村上鬼城『鬼城句集』。

した、かに水をうちたる夕ざくら

久保田万太郎

しんしんと柱が細る深雪かな

栗生 純夫

芽吹く低い街へ窓ひらく

栗林一石路

お月さんへ美しいおしつこが出る出る

大風の枝にすむ空

蔓、空でもなんでもつかまうとする

シヤツ雑草にぶつかけておく

稲妻にまつ毛顫ふや黍の道

人入つて門のこりたる暮春かな

永き日のはとり柵を越えにけり

麦車馬におくれて動き出づ

向日葵の蕊を見るととき海消えし

【消息】

〈1月30日〉

宮部寸七翁没。

〈2月20日〉

内藤鳴雪没。

〈4月7日〉

尾崎放哉没。

〈9月2日〉

篠原温亭没。

柿もぐや殊にもろ手の山落暉

新藁や永劫太き納屋の梁

あなたなる夜雨の葛のあなたかな

枯れ木宿はたして犬に吠えられし

春水や蛇籠じやかごの目より源五郎

大空に伸び傾ける冬木かな

分け入つても分け入つても青い山

鴉啼いてわたしも一人

秋昼や見出でて拾ふ庵の塵

風邪人に渺々と澄む日空かな

つる草花もつて工場が閉鎖している

まゝごとの飯もおさいも土筆かな

佐野 良太

芝 不器男

高野 素十

高浜 虚子

種田山頭火

西島 麦南

橋本 夢道

星野 立子

昭和十八年（一九四三）

日本軍、ガダルカナル島撤退開始  
連合艦隊指令長官山本五十六戦死  
神宮外苑で出陣学徒壮行会行われる  
中国発進のB29が日本製鉄八幡製鉄所を空襲

谷崎潤一郎の「細雪」の連載中止  
煙草大幅値上げ（金鶏一〇銭↓一五銭など）  
「決戦料理」・野草の食用奨励  
上野動物園の猛獣処分される

昭和十九年（一九四四）

マリアナ沖海戦  
サイパン島守備隊全滅  
東条内閣総辞職  
学童集団疎開第一陣  
レイテ沖海戦／神風特攻隊、初めて米艦に突撃  
マリアナ基地のB29が東京を爆撃  
東海地方に大地震

流行語に「鬼畜米英」、「一億火の玉」  
食料欠乏で野良犬が野生化  
硫黄マッチ出現

昭和二十年（一九四五）

B29約三〇〇機による東京大空襲、死者・行方不明者八万人余、負傷者十万人余  
全国主要都市空爆行われる／沖縄戦  
広島・長崎に原子爆弾投下  
日本、ポツダム宣言受諾、太平洋戦争敗戦  
戦争終結の詔書を放送（玉音放送）  
米軍、日本に進駐  
昭和天皇、マッカーサー元帥を訪問

愛煙家、配給のきざみ煙草を英和辞典のページを切って巻く  
国民酒場に行列できる  
米軍接取中の神宮球場を借用し、早慶野球復活する

## 昭和俳句の軌跡

解説にかえて

川名 大

## はじめに

戦前・戦中時代（昭元〜昭20）にはどのくらい俳句雑誌が出ていたのだろうか。改造社の『俳句講座』の第八巻「現代結社篇」（昭7）に収録された「明治・大正・昭和時代における主要俳句雑誌一覧」（大場白水郎）によれば、いわゆる伝統派の俳誌数は、合計一〇一。これは昭和七年の時点の数なので、その後の昭和二十年までを含めれば大幅に増えるだろう。

他方、新興俳句系の俳誌数は、幡谷東吾の「新興俳句・俳誌総覧」（『俳句研究』昭47・3）によれば、「馬酔木」から「我等」まで五十音順に一二三冊が挙げられている。伝統系・新興俳句系を合わせると、二百数十もの俳誌が発行されていたことになる（それらを統合する俳壇ジャーナリズムとして改造社の「俳句研究」があった）。その数はわれわれの一般的な予想よりもかなり多いのではないか。これは、昭和初期から十年代にかけて俳句が隆盛だったことの有力な傍証となる

であろう。

近現代俳句における作品の一次資料は、以上のような数多くの俳誌に発表された夥しい数の俳句と、それらの俳句を結社単位で精選したアンソロジーや個人単位で精選した句集である。俳誌発表句からアンソロジーや句集へと精選、収録される場合には、句形や表記の異同がしばしば見られる。

今回、『昭和俳句作品年表』（戦前・戦中篇）を編むに際して調査対象としたのはそうした一次資料としての俳誌やアンソロジーや句集である。しかし、刊行された資料は夥しく、また、散逸したものも多いため、漏れなく調査することは不可能である。そこで、俳誌については本書の口絵写真で紹介したような主要俳誌を中心とした。また、アンソロジーや句集については『現代俳句大系』（角川書店）『現代俳句集成』（河出書房新社）『昭和俳句選集』（永田書房）『ホトトギス雑詠選集』（現代俳句の世界）（共に朝日文庫）などを主な資料として用いた。

ここで、編集の基本的な視点や方針に触れておきた

い。『昭和俳句作品年表』とは、言い換えれば「作品年表」の形態による最も純粹で凝縮された俳句表現史であるべきだ。これが基本的な視点・理念である。したがって、俳壇的ヒエラルヒーや知名度といった外在的な要素に囚われることなく、表現史の視点に立って、横軸として同時代の俳句を幅広く眺望するとともに、縦軸として時系列で表現史的な展開を眺望してゆくことを通して表現史的に意義のある作品を精選してゆくことを基本的な方針とした。

選句に当たって特に留意した点は、すでに歴史的な評価を得ている作品を漏らさないこと、埋もれた秀句（特に無名俳人の）を積極的に発掘すること、時代を顕著に反映した俳句や俳壇に衝撃を与えたような俳句は

採録すること、などである。最も苦慮した点は作品の制作年月を特定することであった。採録すべき俳句の制作年月が不明のため、やむをえず採録を断念せざるを得なかった俳句が若干あったことは、編者として悔いが残る。そういう不備を含みながらも、本書を時系列で読むことで、何を（表現内容）と、いかに（表現方法）との融合した昭和俳句（戦前・戦中）の表現史的な展開の大筋が見えてくるだろう。それは昭和俳句表現史としての歴史的証言ともいえるべきものであるが、同時に、過去に学んで未来を拓くという意味で、現代の俳壇や俳人にも寄与するものとして密かな自負と願いも込めてある。

## 一 ホトトギス俳句の隆昌（昭和元年〜昭和六年）

昭和初期から昭和十年代までの収録句を通覧して気づく大局的な特徴が、いくつかある。その一つが、古典的なカノンとしての俳句の文体が散文的、欧文的な

文体によって、漸次、侵蝕されていったこと。すなわち、格助詞「が」「に」「を」の挿入による主語述語や修飾被修飾関係を明確にした文体による侵蝕。その現

あ

相生垣瓜人 あいおいがき・かじん……59, 72, 160
相島 虚吼 あいじま・きょうこう……20
青池 秀二 あおいけ・しゅうじ……213
青木此君樓 あおき・しくんろう……160
赤尾 兜子 あかお・とうし……220
赤城さかえ あかぎ・さかえ……204, 213, 220, 227, 233
赤星水竹居 あかほし・すいちくきよ……49
秋庭 俊彦 あきば・としひこ……111
秋元地平線 あきもと・ちへいせん
(→東 京三 秋元不死男)……72, 86, 98, 111
秋山秋紅蓼 あきやま・しゅうこうりょう……41, 98, 132
秋山 牧車 あきやま・ぼくしゃ……233
芥川龍之介 あくたがわりゅうのすけ……20
浅井波津女 あさい・はつじよ (→山口波津女)
……86
麻植 大江 あさうえ・おおえ……160
麻木 泰風 あさき・そうほう……26, 34, 59
朝倉南海男 あさくら・なみお……132
飛鳥田麗無公 あすかた・れいむこう……20, 86
安住 敦 あずみ・あつし……111, 132, 175, 190, 233
阿部 簀人 あべ・しょうじん……175, 190, 233
阿部 青鞋 あべ・せいあい……160, 204, 227
阿部みどり女 あべ・みどりじよ……98, 175, 233
綾部 王春 あやべ・おうしゅん……72
新井 牧笛 あらい・はくてき……132
新井 夜雨 あらい・やう……41
荒川 曉浪 あらかわ・あきお……190
有馬 簪子 ありま・かざこ……160
阿波野青猷 あわの・せいほ……20, 26, 34, 41, 49, 59, 72, 98, 111, 132, 144, 175, 190, 204, 213, 220
安齋桜碗子 あんざい・おうかいし……175
安東 次男 あんどう・つぐお……204, 220, 227
飯田 蛇笏 いいだ・だこつ……21, 26, 34, 41, 49, 59, 72, 86, 98, 111, 132, 144, 160, 175, 190, 204, 213, 220, 227
飯田 龍太 いいだ・りゅうた……204
五十崎古郷 いかざき・こきょう……49, 144

五十嵐播水 いがらし・ばんすい……49, 72, 175
池上浩山人 いけがみ・こうさんじん……98, 220
池内たけし いけのうち・たけし……34, 41, 59, 60, 73
池内友次郎 いけのうち・ともじろう……26, 49, 86, 111
石井 露月 いしい・るげつ……34
石川 桂郎 いしかわ・けいろう……175, 190, 213, 220
石川 予風 いしかわ・よふう……41
石田 海市 いしだ・かいし……176
石田 波郷 いしだ・はきょう……60, 73, 86, 98, 111, 112, 132, 144, 160, 176, 190, 213, 214, 220, 221, 227, 233
石塚 友二 いしづか・ともじ……176, 190, 221
石橋辰之助 いしばし・たつのすけ……87, 99, 160, 161, 190
石橋竹秋子 いしばし・ちくしゅうし
(→石橋辰之助)……60, 73
石橋 秀野 いしばし・ひでの……161, 204, 214, 221
石原 舟月 いしはら・しゅうげつ……176, 214
石原 八束 いしはら・やつか……145, 176
泉 鏡花 いずみ・きょうか……214
磯崎 藻二 いそざき・そうじ……73
磯辺 幹介 いそべ・もとすけ……176, 191
板垣鏡太郎 いたがき・えいたろう……221
伊丹三樹彦 いたみ・みきひこ……112, 161, 176, 233
市瀬 元吉 いちせ・もときち……191
井出 台水 いで・たいすい……35
伊東 月草 いとう・げつそう……132, 176
伊藤 柏翠 いとう・はくすい……73, 87, 145
稲葉 直 いなば・ちよく……60, 74, 112, 214
井上草加江 いのうえ・くさかえ……133, 161
井上白文地 いのうえ・はくぶんじ……145, 161, 177
指宿 沙丘 いぶすき・さきゅう (→榎島 沙丘)
……145, 177
今井つる女 いまい・つるじよ……50
岩木 躑躅 いわき・つつじ……26, 145
岩崎健二郎 いわさき・けんじろう……112, 191
岩崎 欄亭 いわさき・さくてい……133
岩谷山樞子 いわや・くちなし……161
巖谷 小波 いわや・さざなみ……74

上田 都史 うえだ・とし……145
上野 章子 うえの・あきこ……133, 177
上村 占魚 うえむら・せんぎよ……221
植山 露子 うえやま・つゆこ……221
宇佐美不喚洞 うさみ・ふかんどう……177
石城 暮石 うしろ・ぼせき……42, 87, 112, 133, 145
白田 亞浪 うすだ・あろう……21, 26, 27, 35, 50, 74, 87, 99, 133
白田登代子 うすだ・とよこ……87
内田 百閒 うちだ・ひやっけん……99, 112
内田 蓉情 うちだ・ぼじょう……112
江口 渙 えぐち・かん……60, 133
榎島 沙丘 えじま・さきゅう……221
塩谷 鶴平 えんや・うへい……112, 133, 177
及川 貞 おいかわ・てい……87, 112, 133, 145, 161, 191, 204
逢坂 薊 おおさか・あざみ……50, 60
太田 鴻村 おおた・こうそん……133, 145, 177, 227, 234
大谷 句伝 おおたに・くぶつ……42, 146
大谷碧雲居 おおたに・へきうんきよ……133, 177
大野 林火 おおの・りんか……113, 146, 161, 191, 204, 214, 234
大場白水郎 おおば・はくすいろう……133
大橋越央子 おおはし・えつおうし……74, 133
大橋桜坡子 おおはし・おうはし……146
大橋 裸木 おおはし・らばく……27, 50
岡 清二 おか・けんじ……74
岡田 耿陽 おかだ・こうよう……27, 50
岡橋 宣介 おかほし・せんすけ……177, 191
岡部 弾丸 おかべ・だんがん……74
岡本 綺堂 おかもと・きどう……74
岡本 圭岳 おかもと・けいがく……146, 161
岡本差知子 おかもと・さちこ……134, 191
岡本 松浜 おかもと・しょうひん……162
小川 素光 おがわ・そこう……99, 177
小川ひろ女 おがわ・ひろじよ……60
荻野 甲峯 おぎの・こうほう……87
荻原井泉水 おぎわら・せいせんすい……21, 27, 60, 74, 87, 99, 191, 234
尾崎 放哉 おぎさき・ほうさい……21
長田喜代治 おさだ・きよじ……134, 205, 221
小沢青楠子 おざわ・せいゆうし……113, 146, 162, 177

小沢 武二 おざわ・たけじ……21, 27, 35, 42
小沢 碧童 おざわ・へきどう……162, 191
小田 黒潮 おだ・こくちょう……74
小川 武雄 おだ・たけお……146
小野 燕子 おの・ぶし……146, 162, 177
親井牽牛花 おやい・けんぎゅうか……99, 113

か

笠原 静堂 かさはら・せいどう……113, 162, 177
梶井基次郎 かじい・もとじろう……21
梶原寅次郎 かじはら・とらじろう……113
柏原鷹一郎 かしわばら・よういちろう……178, 205
片山 桃史 かたやま・とうし……87, 134, 146, 162, 178, 191, 192
桂 椿蹊子 かつら・しやうけいし……113, 146, 192
桂 信子 かつら・のぶこ……162, 178, 192, 205, 227, 234
加藤かけい かとう・かけい……113, 162
加藤 霞村 かとう・かそん……178, 179
加藤 楸邨 かとう・しゅうそん……74, 75, 87, 99, 113, 134, 147, 163, 179, 192, 205, 214, 221, 227, 228, 234, 235
加藤知世子 かとう・ちよこ……214, 221, 228, 235
金尾梅の門 かなお・うめのかど……147, 221, 222
金子伊昔紅 かねこ・いせきこう……134, 192
金子 兜太 かねこ・とうた……192, 193, 205, 214, 215, 222, 228, 229
神生 彩史 かみお・さいし……134, 147, 163, 193, 229
上川井梨葉 かみかわい・りよう……179
神代 藤平 かみしろ・とうへい……35, 60
軽部烏頭子 かるべ・うとうし……42, 50, 75, 193
川端 茅舎 かわばた・ぼうしゃ……42, 51, 60, 61, 88, 99, 100, 113, 114, 134, 147, 163, 179, 193, 205, 206
川端 龍子 かわばた・りゅうし……35
神崎 綾々 かんざき・るる……61, 75, 100
上林 暁 かんばやし・あかつき……135
岸田 稚魚 きした・ちぎよ……222
喜多 青子 きた・せいし……88, 114
北垣 一柿 きたがき・いっし……179, 180